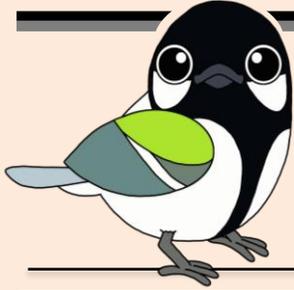


しじゅうから

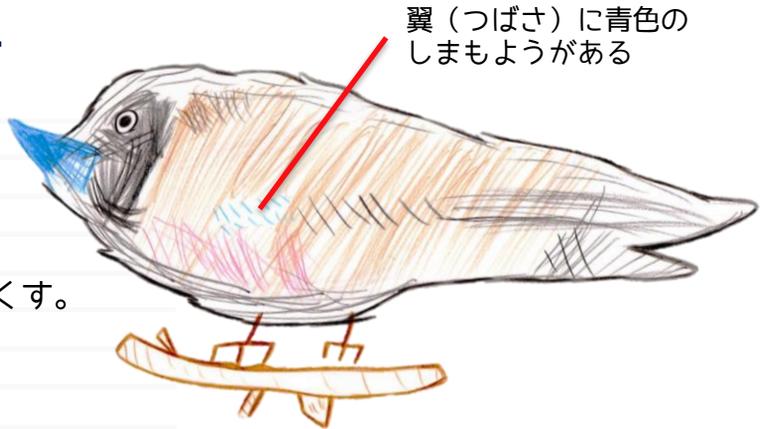


小鳥の森で観察してみよう 149

カケス

分類 スズメ目 カラス科

大きさ：33cm

特徴：「ジェーーツ」と鳴く。
冬に備えてドングリをかくす。小鳥の森で見られる時期
・10月～4月小鳥の森で見られる場所
・ネイチャーセンターの周辺や各小径あさの かざと さん (10才)
あさの ひだか さん (3才) が描いてくれました。

11月 いきもの森予報

森の衣替え (ころもがえ)

11月になると季節は秋から冬へバトンタッチ。園内では紅葉(こうよう)が楽しめる時期になります。みなさんもよく知っているサクラやカエデの仲間をはじめ、いろいろな木の葉が緑色から赤色や黄色に少しずつ変身。こんな風に違う色になってしまう「紅葉」はどうやって起きるのでしょうか。

紅葉が進む条件は気温です。1日の最低気温が8℃以下になると葉の色の変化がはじまり、5～6℃まで下がるとさらに変化が進んで赤色や黄色がはっきりとしてきます。また1日の温度差が大きいこと、日光がよく当たることも葉の色が変化するのに大切です。

去年、福島市小鳥の森が初めて最低気温8℃以下になったのは10月の中旬。11月にはぐっと冷える日が多くなり、園内はカラフルになりました。

今年とはどんな衣替えを見せてくれるのでしょうか。

※色づく葉の中には触れると危険な「ウルシ」の葉もあります。知らない葉はむやみに触れないようにしましょう。



ミズキ

イタヤカエデ

ガマズミ

ウワミズザクラ

秋の花たち

10月に入ると朝と夕に冷え込む日が多くなりました。園内でも最低気温が15℃前後になり、秋の深まりを感じました。そんな森の中で、たくさんの秋の花が見られました。

9月～10月に咲くキバナアキギリ。手ぶくろのミトンのような形の花はうすい黄色。足もとにたくさん広がって咲いていました。また竹林前の水路（すいろう）やネイチャーセンター近くの池のそばにはミゾソバの花が。葉がソバと似ていることが名前の由来です。小さな白い花ですが、よく見ると先端（せんたん）だけピンク色です。オクモミジハグマは、白くて先がクルンとカールした線香花火（せんこうはなび）のような花を咲かせます。少し変わっているのはセンボンヤリの花。「閉鎖花（へいさか）」と呼ばれる、花びらを広げない塊（かたまり）のような花を秋につけます。

小さく淡い（あわい）色の秋の花たち。すずしくなった森を歩いて探して冬までの時間を楽しんでくださいね。



キバナアキギリ

ミゾソバ

センボンヤリ

オクモミジハグマ

自然のお便り

忍法「滑空（かっくう）」の術

人の気配が消える夜の小鳥の森。誰かが木の上で目を覚ましたようです。体の大きさは80cmほど。ムササビです。夜行性のリスの仲間です。リスとはちがう大きなポイントは、滑空（かっくう）高い場所を利用して空をすべるように飛ぶことができること。ムササビには前足と後ろ足の間をつなぐ皮膜（ひまく）と呼ばれる膜があります。これを広げて木から木へと飛びうつるのです。いつもは折りたたみである皮膜をパッと広げて森を移動する姿は忍者のようですね。体と同じぐらいある長い尾も特徴のひとつ。木の上や空中でバランスを取るのにとっても大事なのです。風に乗れば100m以上も滑空することができるムササビ。

今夜も食べ物を探して森の中を自由自在に飛んでいるのでしょうか。

イベント報告

お山の大将あつまれ！

10月20日（日）に「お山の大将あつまれ！」を行いました。今回は「池掘り」。メンバーが土砂にうまってしまった池をもとに戻す活動をしています。活動中には様々な生き物を発見。観察も行いました。

子どもたちは池に住む動物や植物をとおして、水辺の豊かさと必要性（ひつようせい）を学びました。



池掘りの様子

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2024年11月号№460 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / NPO法人野鳥の会ふくしま



小鳥の森HP